

文学研究科英語学英米文学専攻・博士前期課程 専門分野・教員一覧

■教授

松岡 博信		博士（教育学） ＊英語学英米文学専攻長
主な担当科目	●英語教育学特論A・B ●英語教育学演習A・B ●英語教育学特別研究Ⅰ～Ⅳ	
研究内容	心理言語学に基づく第2言語習得研究、統計学の第2言語習得研究への応用、ICTおよびCMSの外国語教育への応用、日本の英語教育史研究、語源による英語語彙習得研究、日本における外来語および和製英語研究	

青木 順子		Ph.D.（異文化教育）
主な担当科目	●異文化理解特論A ●異文化理解演習B ●英米文学特別研究Ⅰ～Ⅳ	
研究内容	異文化コミュニケーション教育のパラダイム構築を研究テーマとする。特に、文化の普遍的問題（正義の在り方、幸福な社会）に対処できる異文化教育、虚構世界（小説）と現実世界（異文化コミュニケーションの問題）を結びつける試み、である。	

高口 圭轉		博士（文学）
主な担当科目	●英語学特論A・B ●英語学演習A ●英語学特別研究Ⅰ～Ⅳ	
研究内容	英国作家 Charles Dickensの言語の多様性や文体のメカニズムを明らかにするため、英語文体論・コーパス言語学の観点から、精緻なテキストリーディングに基づいた分析とコンピュータを利用した客観的な分析を融合させた研究を行っている。	

平本 哲嗣		博士（教育学）
主な担当科目	●英語教育学特論D ●英語教育学演習C ●英語教育実践研究B	
研究内容	小学校英語教育、ICT利用の英語教育、英語教育政策過程、英語教育史（特に戦後の政策的動向）	

三宅 英文		博士（学術）
主な担当科目	●英語学特論C・D ●英語学演習B ●英語学特別研究Ⅰ～Ⅳ	
研究内容	中心となる研究課題は選択体系機能文法の理論研究とこの理論を用いたテキスト分析で、テキストの目的とコンテキスト依存度の関係や日本語と英語のテキスト構造の差異を解き明かそうとしている。	

山川 健一		修士（教育学）
主な担当科目	●英語教育学特論C ●英語教育学特別研究Ⅰ～Ⅳ ●英語教育実践研究A	
研究内容	英語の動詞の習得を中心とした第二言語習得理論を専門とする。また、留学の前後における英語能力や動機づけの変化の調査、ならびに効果的な留学プログラムの開発等に取り組んでいる。	

■准教授

John McLean [※]		M.Res.（通訳翻訳学）
主な担当科目	●英語コミュニケーション演習A ●英語学特別研究Ⅰ・Ⅱ	
研究内容	専門は通訳・翻訳教育学。映画の英語・日本語字幕翻訳研究も行なう。これまでの自らの研究成果を応用し、社会のニーズに応じて、高度な英語力と通訳・翻訳業務に必要な資質を身に付けた人材の育成を主たる目標としている。	

文学研究科英語学英米文学専攻・博士前期課程 専門分野・教員一覧

田多良 俊樹 博士（文学）

主な担当科目 ●英米文学特論A ●英米文学演習B ●英米文学特別研究Ⅰ～Ⅳ

研究内容 20世紀アイルランド小説をポストコロニアル文学理論の観点から研究している。主たる研究対象はジェイムズ・ジョイス。また、アイルランド大飢饉の文学的表象や、ゴシック小説およびゴーストストーリーに関する研究も行っている。

Taras A. Sak Ph.D.（比較文学）

主な担当科目 ●欧米文化特論A・B ●欧米文化演習A・B ●英米文学特別研究Ⅰ～Ⅳ

研究内容 19・20世紀アメリカ文学を歴史的、人種的観点から研究している。主たる研究対象はハーマン・メルヴィルで、アフリカ系アメリカ人文化と文学の関係や、ポピュラーカルチャー（映画と音楽）に関する研究も行っている。

R.R.P.Gabbrielli※ Ph.D.（応用言語学）

主な担当科目 ●英語表現演習 ●英語学演習D ●英語学特別研究Ⅰ・Ⅱ

研究内容 研究対象は人間のコミュニケーションのメカニズムとプロセスであり、その観点から英語教員になりたい大学院生に、英語教育におけるコミュニケーション能力の育成方法について教授している。

■講師

島 克也※ 博士（文学）

主な担当科目 ●英米文学特論B ●英米文学演習A ●英米文学特別研究Ⅰ・Ⅱ

研究内容 第2次世界対戦以降のアメリカ文学（特にSF小説）、アメリカのSF映画・コミック・ゲーム、日本のSFアニメ・コミック・ゲーム

※氏名横の「※」は研究指導の補助及び授業担当適格者を示す。